

京北病院 地域とともに

第6号



令和7年度第1回京都市医療施設審議会を開催

11月17日に、令和7年度第1回京都市医療施設審議会を開催しました。昨年度から全4回にわたって開催した「京北病院が果たす機能の在り方検討会」で取りまとめた在り方方針案等について諮問しました。今年度中に審議会から答申をいただき、それに基づき、来年度に在り方方針を盛り込んだ第5期中期目標を策定します。

京都市が設置する医療施設の運営の基本方針に関することを諮問する、京都市の附属機関。

<諮問事項>

- (1) 京北病院が果たす機能の在り方検討会が取りまとめた方針案について
- (2) 京北地域の介護施設等との連携・役割分担について
- (3) 診療機能の集約化に向けた取組について
- (4) その他、上記以外に検討すべき重要な事項

諮問の様子



<在り方方針案>

- ① 入院：京北地域唯一の病院として、入院診療機能を維持(38床全床を地域急性期に転換)
- ② 外来：現状の外来診療をベースに、柔軟に対応
- ③ 訪問診療・訪問看護：京北地域のニーズに応えるため、訪問診療及び訪問看護を継続
- ④ 診療所：通院手段や訪問診療等を確保し、京北病院に診療機能を集約化
- ⑤ 介護老人保健施設：医療機能に特化し、地域の介護施設等との連携強化
- ⑥ 通所リハビリテーション：住み慣れた京北地域での生活を支援

審議会の様子



<諮問事項>の(2)(3)については、丁寧な進め方や試行的な実施が求められるため、京北介護老人保健施設の廃止、オンライン診療の導入を視野に、第5期中期目標策定前から検討を進めます。

～審議会での主な意見～

- 診療所廃止により、診療の質が落ちないように、オンライン診療の導入だけでなく、送迎の確保は重要。
- オンライン診療の導入にあたっては、かえって非効率にならないよう手法を検討すべき。
- 現在の病床稼働率を踏まえ、将来にわたって38床が必要なのか引き続き注視し検討すべき。
- 医療的ケアが必要な方や介護度の低い方を除いて、京北病院の老健の入所者の状況は特養と同じで、特養で対応できるため、老健廃止に異論なし。

会議資料はコチラ→



SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

京都市は持続可能な開発目標（SDGs）を支援しています。

<今後のスケジュール>

令和8年 1月 第2回京都市医療施設審議会（答申案の取りまとめ）

令和8年 3月 市長への答申

令和8年度 在り方方針を盛り込んだ第5期中期目標策定

▼御意見は FAX : 075-222-4062 メール : eisei@city.kyoto.lg.jp まで▼

京北病院に関する御意見を、京都市医療衛生企画課で受け付けています。
下記に御記入いただき、この用紙をFAXもしくはメールでお送りください。

お名前（任意）	
お住まい（当てはまるものを○で囲んでください）	周山 弓削 山国 黒田 宇津 細野 その他
メールアドレス（任意）	
（京北病院に関する御意見）	

※いただいた御意見は、今後の病院運営に活かしてまいります。

朝晩は一気に冷え込み、体調管理が難しい季節となりました。京北病院では、京北地域の皆さまが健やかな毎日を送れるよう、質の高い医療の提供に努めています。季節の変わり目に、もし体調に不安を感じられることがあれば、どんな些細なことでもお気軽にご相談ください。

これからもより一層愛される京北病院を目指します！



みぶまる